《第87回》令和二年九月の作品

〈九月十一日（金）於・文京区民センター3階D会議室〉

聞き覚へある声のして秋簾　（一江）

移り香の机上にありて秋扇　（前歩）

格子戸に新蕎麦ありと墨書かな　（隆治）

水中にカバの親子や秋高し　（正雄）

薬師寺の修理落成柿の秋　（正佳）

桑の実の音なく落つる古刹かな　（清助）

としま園遊園地

閉園を惜しみて咲けよ大花火　（芙紗）

信濃より先づは葡萄の届きけり　（奉男）

なんこつを肴にひとり新走　（孝昭）

白粉花（おしろいばな）といへども赤や黄色あり　（平六）

解体の重機しづまり虫の声　（貴美）